



ドクツルタケ号

私が子どもだった頃（前編）

会長 相川 澄夫

昭和20年代から30年代が私の子ども時代でした。高舟台、湘南八景はまだ雑木山だったしハードオフの谷戸は全部田んぼ、青木製作所の奥に高梨牧場がありその奥は田んぼさらに奥にため池があった。大道中学の谷戸も全部田んぼで山際を細い水路が流れていました。南川の奥も田んぼでその奥に染谷という牧場があり山は雑木山だった。平潟湾は柳町もなく、花火大会が開かれたりしていました。六浦中学は市大の中の旧兵舎を使っている、関東学院も木造の旧海軍の建物のようでした。

瀬戸には今のローズマンションのあたりに竜宮館というヘルスセンターのような温泉と宴会のできる施設ができた。野島は冬場になるとのりを干すすだれが並び、路地はあさりの殻が敷き

ドクツルタケ（毒鶴茸）

学名： *Amanita virosa*

分布：梅雨～秋、北半球一帯、オーストラリアに帰化、広葉樹林、針葉樹林ともに発生
傘は径6～15cm、柄は長さ14～24cm

卵状の壺から卵型の傘が出てきて円錐形からひらいてゆく。全体に清楚な白色でつばとつばをもち、柄にはささくれがある。臓器を破壊する猛毒成分からなり、1本以上食べた場合、病院で完全洗浄等治療しないと3日以内に死亡する。食後10～20時間と発症が遅く、手遅れになり死亡する例がある。テングタケ属は臓器を破壊する猛毒キノコが多く、誤食等しないよう観察したい。周辺の雑木林ではいろいろなテングタケ科テングタケ属がみられる。

解説：飯村 優介



つ 詰められ海には海苔ひびが立って、いなかの漁師町だった。

大道小の裏門のいまのココスのあたりにはベンケイガニが護岸の鷹取石の隙間に無数にいて道路にまでソロソロといっぱいはい出してきていました。白黒テレビが町内の床屋に入り力道山のプロレスや栃錦、若乃花、朝潮、吉葉山、などの相撲を何十人という人ばかりで見たり、三輪自動車が走り、バスはボンネットバスで車掌さんが乗っていた。相武隧道の向こうは八軒谷戸の地名どおり八軒くらいの農家しかなく環状4号は未舗装のデコボコ道で、神奈中バスにのると穴ぼこの道で天井まで跳ね上がる位だった。進駐軍をあちこちに見かけ、京急の六浦駅が木造ですぐ横に踏切がありました。戦後の海外からの引揚者用の寮も5～6カ所あり空襲で焼けだされた人たちや戦後、台湾、満州、中国、朝鮮などからの引き上げてきた大勢の人たちがこのまちに生活するようになってきました。まさに『3丁目の夕日の時代、トトロの森の時代』でした。

つづく

侍従川流域 生き物発見記録

マムシ(死骸) ... 5 / 5 金の橋(侍従川源流) 飯村特派員

ノコギリクワガタ... 6 / 12 お伊勢山(六浦) 古寺特派員

ハグロトンボ... 6 / 19 大道(侍従川中流) 山田特派員

ヒバカリ... 6 / 25 侍従川流域 金子特派員

ハグロトンボ... 7 / 10 加倉橋(侍従川中流) 飯村特派員

ウグイ... 8 / 6 大道橋(侍従川中流) 飯村特派員

イシマキガイ... 8 / 28 大道東橋(侍従川中流) 上村特派員

カルガモ、アオサギ、ボラ... 9 / 3 汐見橋(侍従川下流) 金子特派員

カワセミ... 9 / 9 新川橋(侍従川中流) 寺尾特派員

ヒラタクワガタ(死骸) ... 9 / 10 環状4号線沿いのAコープ前 竹内(将)特派員



《特派員募集!》侍従川流域の生き物発見情報求む! 初見や初鳴きなどの情報、貴重な生き物の情報をお寄せください。

侍従川らくらく連絡網に登録してある方 jijuugawa@ra9.jp 侍従川らくらく連絡網へ登録してない方 yohji-y@ezweb.ne.jp 山田へご連絡ください。

5月定例クリーンアップ

【活動報告その1】

5月30日(日) 9:00~11:30

於：金の橋～源流域(朝比奈インターチェンジ下) 記)細川一雄

参加者：角田繁、八木場紀元、西澤博厚、石塚正夫、外川忠志、細川一雄(計6名)

今月は、今まで入ったことが無い源流域の草刈りとゴミ拾いを行いました。

源流域は中流域・下流域とまた違う雰囲気、まるで山の奥の溪谷を思わせる雰囲気でした。環状4号線のセブンイレブン前から右に折れてくだり、金の橋から上流に向かうと、崖の上から多数の蔦が川に垂れ下がりまるで山奥の溪谷の様な景色でした。しばらく遡上して朝比奈切り通し入り口の下から侍従川源流に降りて草や竹を刈り取りながら上流に向かいます。

電気ポットなどのゴミを含め5袋分を回収。金物のゴミが多く集積所まで持っていく体力が残っていないため、外川さんに急遽電話してトラックの出動を要請。トラックで県営住宅跡地まで運んでもらいました。



初夏の森たんけん

【活動報告その2】

6月5日(土) 9:00~

記)山田陽治

6月5日(土)『初夏の森探検』が行われました。

コースは、大道小学校から朝夷奈切り通し 三郎の滝 十二所果樹園 熊野神社 朝比奈町...で、参加した子どもたちは切り通しに入ると、それぞれいろいろなものを発見!三郎の滝では水の中に入り、水棲生物を探しました。

十二所果樹園で昼食をとってから竹笛を作ったり、虫を探したり...近辺を探検し、ターザンができるつるを見つけました。子どもたちはターザンに夢中になって遊んでいました。

一日歩きずくめでしたが、侍従川源流の森の奥深さを体感した一日でした。



会員の集い

【活動報告その3】

6月12日(土) 17:00~18:00

於: 大道小コミュニティーハウス

記) 長谷川瞳

活動開始から18年が経ち、着実に「成果」が形となって現れています。これはみなさんの努力の賜物であり、素晴らしい活動をしてきた証です。「会員の集い」で私が見つけた「形ではない成果」についてご紹介します。



まず1つ目は、「上流地域の生き物が減ってしまったので、対策をしたい」という会員の方の意見から。「せっかく侍従川の生態系が豊かになってきていたのだから、どうにかしなくては!」という、新たな熱い思いを生んでいることも「形のない成果」だと思います。



2つ目は、「生き物図鑑」についての佐野真吾くんのプレゼンテーションからです。侍従川の生き物について、目をきらきらと輝かせ自信をもって話す佐野さんに圧巻。前回の会報で佐野くんは、侍従会で「好きなもの」「尊敬できる人」に出会ったと書いていました。人を輝かせ、人生を方向付けるほどの素晴らしい出会い。それもまた、「形ではない成果」だと思います。

「成果」を形にし、足跡を残していくことはとても大切ですが、「形ではない成果」はそれ以上に価値あるものなのかもしれません。それを一つでも多く見つけ、活動を通じて会員のみなさんと共有し喜び合えたら素敵ですね。

ホタル観察会

【活動報告その4】

6月12日(土) 13日(日) 19:00~20:30

於: 大道中学校

記) 上村恵美子

6月12日(土): ホタル41頭(39、2) 参加者164名

6月13日(日): ホタル83頭(83、1) 参加者87名

3年前からホタル観察会に参加するようになりました。今年の梅雨入りは6月14日ということで丁度梅雨入り前のじめっとした天気、ホタルにはもってこいの気候でした。

開始時間はまだ明るく参加者もまばらでしたが1時間もたつと沢山の人がホタルを見

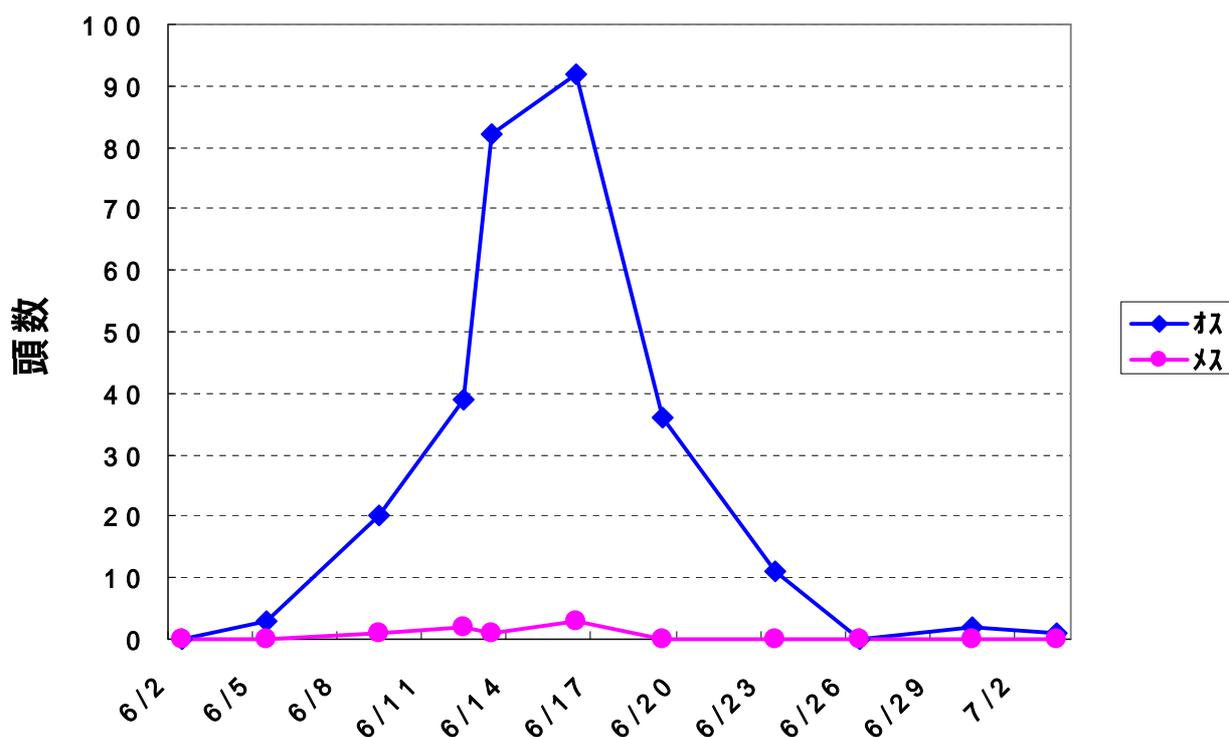
に訪れてきました。暗くなったところで恒例の竹内さんレクチャーが始まり『ここにはゲンジボタルが生息していること。』『雌はめったに見られないこと。』『ホタルは7日間しか生きられないこと。』を教わりました。子供達はどの子もホタルを見るより捕まえることに夢中。自分の手の中で光るホタルを自慢げに周囲の大人たちに見せている姿はほほえましく思えました。ホタルを数えては途中で光が消えて数がわからなくなり「あ～あ」と落胆している子もいました。

テレビや映画でしかお目にかかれなかったと思っていたホタルのはばたく姿。地元で育った私にとって母校の大道中学校にこんなにも沢山のホタルが住み着いてくれているのはちょっとした誇りです。まだ見たことのない地域の方々には来年是非足を運んでもらいたいです。

ホタル調査報告 竹内秀弥

例年の通り5月下旬から7月上旬まで、大道溪谷にてホタル調査を行いました。5月下旬は雨で調査出来ず6月に入ってから調査となりました。心に秘めた出頭数を目標に始めましたが、結果は半数になりました。(冬に保全活動しなかったから?)今年の冬はちゃんとしなくては!皆さんも保全活動参加しませんか、大道溪谷のホタルのピークは6月中旬、沢山のホタルが飛び交うためにも皆さんの協力待ってます。

2010ゲンジボタル調査結果 by学生部



6月定例クリーンアップ(延期)

【活動報告その5】

7月4日(日) 9:00~11:30

於: 二の橋~朝比奈橋

記) 細川一雄

参加者: 角田繁、八木場紀元、西澤博厚、村田章夫、細川一雄(計5名)

6月のクリーンアップが雨のため中止になり、7月4日に延期となったが当日は瀬戸神社の祭礼と重なってしまった(例年瀬戸神社の祭礼は翌週だが参議院選挙のため1週間前倒し)

お祭りと関係のない町内のメンバーと朝比奈橋から下流に向かい草刈りとゴミ拾いを実施。猛暑で作業がはかどらないため、草刈りは青木橋までにして、そこから二の橋まではゴミ拾いのみを行い千歳園に戻りました。

作業終了後コンビニで飲み物を買って、しばし体を休め解散。少人数ではとても作業は続きません。このままでは、参加者が増えず、侍従川をきれいにしようという活動は消滅します。是非川掃除にも参加ください。



トピックス

6/19(土)金沢自然探検隊の侍従川ガイドを山田が対応

7/24(土)「六浦小学校夏休み親子ふれあい教室」佐野、瀧本が侍従川を案内(100人ぐらい)...アユ、ウナギも捕獲

金沢区教員研究会(総合的な学習の時間部会)が侍従川で研修...山田が対応

『とんぼはどこまでとぶかフォーラム』トンボマーキング調査(8/1~8/7)にふるさと侍従川に親しむ会が協力(島村、山田が参加)

8/11(水)大道小学校はまっこふれあいスクールで侍従川川遊び(瀧本、山田が対応)

8/31(火)高舟台小学校5年生に侍従川の概要をプロジェクターで山田がレクチャー

イカダ作り

【活動報告その6】

7月25日(日) 9:00~12:00

於：大道小学校

記) 廣瀬隆夫

7月25日、イカダ作りのイベントが大道小学校で行われました。

50人を越えるメンバーが集まって楽しいイラストを描きました。今年は、ベニヤ板を新しいもの(表5.5ミリ、裏2.5ミリ)に交換しましたので、軽くなり、運搬も楽になりました。



みなさん水分をたくさんとって
熱中症には気をつけましょう!



たいへん暑い日でしたが、冷たい麦茶を飲みながら、みんなで頑張りました。

最後に、山田さんから、イカダ下り大会当日の海での注意についてのお話があり、お開きになりました。



7月定例クリーンアップ

【活動報告その7】

7月25日(日) 9:00~11:00

於：大道橋上流~第2山王橋

記) 細川一雄

参加者：長野政治、長橋輝明、角田繁、八木場紀元、西澤博厚、村田章夫、石塚正夫、細川一雄(計8名)

梅雨が明けた途端、35以上の猛暑日が続く中、あいにく当日も予想通りの猛暑日となってしまいました。前回作業ができなかった大道橋~青木橋間の草刈りを行うため久しぶりに草刈り機を持ち出して作業開始。

連日の晴天と高温で草の成長も早く草の丈も大分伸びていました。草刈り作業も猛暑の中、汗を拭く回数が多く、なかなか作業がはかどりません。また、作業の途中あしなが蜂の巣が草むらの中にあり、気がつかずに近づいてしま



った八木場さんが蜂に手をさされるというハプニング
がありました。蜂の巣を避けて作業を続行。

スーパーが開店する10時を待ちかね、冷たい飲み物
を調達。汗びしょりになった体を冷やし、のどを潤お
すためにしばし休憩。休憩後作業を再開しましたが、猛
暑の中体力が続かず11時前に草刈り作業を終了し、後



はゴミを拾いながら千歳園にもどりました。千歳園で汗を乾かし、再度冷たい飲み物で体
を冷やしてから早々に解散しました。夏の作業は回数を多く実施しなければ効果がありま
せんが、逆に猛暑の中作業が進まずジレンマを感じています。

侍従川大調査 ~ハグロトンボ横浜市一斉調査~

【活動報告その8】

7月26日(月) 9:00~11:00

記) 山田陽治

参加者：飯塚、重田(あ)、重田(ゆ)、重田(ま)、深沢、尾池、上村、徳竹、白石、
角井、金子、鈴木、瀧本、山田

普段、学生部で行っている侍従川定例調査ですが、今回は、小学生を含めた一般の方た
ちと一緒に侍従川の調査を行いました。それと、よこはまかわを考える会・(財)横浜市
教育文化研究所で推進している「横浜市ハグロトンボ一斉調査」も兼ねて行いました。

最初に、下流域の汐見橋を調査。それから、ハグロトンボの生息している中流域の調査
です。泥牛橋から降り、本隊は
ちとせ園で上陸(その時点での
ハグロトンボの匹数は55匹)。
その後、大道橋まででハグロト
ンボは72匹でした。

ハグロトンボは、一度は横浜
で絶滅したトンボです。中流域
の植物の生い茂る川を好みま
す。侍従川への植栽によって自
然度があがったことによって
ハグロトンボが復活、定着した
ものとみられます。いつまでも
ハグロトンボの見られる川で
いて欲しいものです。



イカダ下り

8月1日(日) 9:00~15:00

【活動報告その9】
記) 高橋のりみ

“イカダ下り”を通じて、子供達から“忍耐”“根性”“努力”を教えて貰いました。侍従川を優雅に下るのかと思っていたら、暑い太陽の下、イカダを漕いで、漕いで、やっとの思いで野島まで辿り着く事が出来ました。“のん太号”の船長は私、船員はカンちゃんとユカちゃんの可愛い小学生の男の子と女の子。

日頃見る事のできない川からの景色を楽しみながら、約2時間をイカダ(たたみ約一畳)の狭い空間で過ごしましたが、兩岸から見守るスタッフの笑顔、応援して下さる見物の方々の声援、そしてアニメ“忍たま乱太郎”の主題歌や演歌を歌いながら乗り切ることが出来ました。また、日頃から侍従川の掃除にも参加していますので、川を下りながらゴミ拾いをしていましたので、ゴールしてから特別賞を貰う事もでき、“感動”も体験させて貰いました。

最後には3人で“友情”も育むことができ、楽しい思い出に残る一日でした。ありがとうございました。

参加者の感想

いかだ以外にも、生き物観察もできて、
すげー楽しかった。(尾池実)



今年も日産プリンス神奈川から飲み物の差し入れをいただきました。ありがとうございました。

スピードサーフィン号に乗ることができたのに、はじめはバラバラで思うように進まなくてどうしようかなと思ったけれど、最後はみんなで頑張って漕ぎ1位になれたのですごく嬉しかったです!(白石守)

世界子ども水フォーラム・フォローアップ

【活動報告その10】

8月2日(月)～4日(水)

於：北海道立洞爺少年自然の家「ネイパル洞爺」 記)金子英司

島村さんとともに8月2～4日で世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 北海道2010に参加してきました。今大会では、北は北海道、南は鹿児島までのたいへん多くの地域の人と交流することができました。

各分科会ごとに分かれて様々な水問題について話し合いそれぞれ発表があったとき、あらためて水の大切さを学びました。

2日目のカヌーのりでは普通ではない乗り方をしました。例えばカヌーから落ちろという指示や、あえて立って乗ってみたりと、それは普段と違う視点でおもしろいものでした。そんな中で学んだことは、落ちたときどうするかをすぐに決める即決力とすべてのことに正解、不正解はないということでした。

そして私たちは侍従川の魅力や侍従会、大道小などでの活動を精一杯伝えてきました。

また参加者のうち何名かを侍従会に勧誘しておきました。



ジュニアキャンプ in 野島

8月14日(土) 15(日)

【活動報告その11】
記) 瀧本宏昭

8月14・15日で、野島ジュニアキャンプを行いました。時間が押してしまったものの天候には恵まれ充実した体験をすることが出来ました。

まずは、初参加の人が多かったので、お互いの名前を覚えてもらうためのゲームをしました。みんな恥ずかしいのかあまり声を出せていませんでした。次はテント張り。色々な型や中身の入れ違いがあり、なかなかテントが立たず苦戦したもののみんなで協力して何とか完成しました。その後、いざ海へ。シュノーケリングが初めての子には、山田さんがついたり、子供同士で教えあったりしていました。その次は、夕食作り。子供達が率先して火起こし・野菜切り・肉や野菜炒め・米とぎとみんなで分担していました。そして、



完成「肉丼」とみそ汁。順番を間違えて少しさめてしまいましたが、とてもおいしかったです。片づけ後はみんなで八景島の打ち上げ花火を見ながら銭湯へ。少しゴタゴタして、一般の人に迷惑をかけてしまいましたが、最後番頭のおばちゃんに「おとなしい良い子たちですね」とお褒めの言葉をもらえました。

そして、アイスを食べ、テントに帰りました。その後は、寝るなり・会話を楽しんだり、肝試ししたり、色々なことを楽しみ就寝しました。

次の日も朝食のサンドイッチをみんなで作って食べて、いざ海へ!! この日はシュノーケリングやアサリとりを楽しんだ他にカニ釣りが大盛況でした。入れ食



い状態だったので、近くにいた人も参加してカニ釣り大会が始まりました。その中で、子供達ルールをつくり小さなカニは逃がしていました。さすが侍従会の子供達と思いました。

そして、昼食。とってきたアサリやカニでみそ汁をつくり、うどんを茹でて、昨日の残りでチャーハンをつくりました。その後は、テントを片づけて解散しました。

最初はみんなほとんどが初顔合わせでうまくいくのか心配でしたが、最後は子供達みんな仲良くなっており、野外体験活動の力を感しました。

ジュニアキャンプ参加者の感想

ハンモックで遊んだ事が一番楽しかったです (村田奈央)

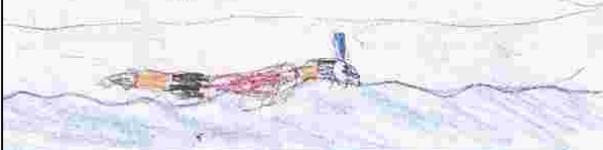
大変楽しく、親子で良い体験ができました。蝉が羽化する時が見られて、とても感動しました。ありがとうございました。また、来年も参加したいです。(伴 富士子)

キャンプ絵日記

長崎光則

海面、の下をみながらいきをすうと
かできました。すごいことだと思
いました。

ジュニアケリグしているところ



今日、キャンプでジュ
ニアケリグを幼稚園が
おなじのゆかちゃんに
おしえてもらいました。
すくになれたのでよっ
たです。

のじまキャンプ日記
8月14日 土曜日
天気: 晴
気温: 25°C
湿度: 70%



きの板を井のようにして火をた
だんだん火がなくな、てなべをよく
そしてお湯をあかした。

お湯を 湯



夕食、のときおまじし
係をたんとししました。
あつたけれど、レスキ
には、なれありのでがま
しました。おきにくと、
こはんをたべました。

のじまキャンプ日記
8月14日 土曜日
天気: 晴
気温: 25°C
湿度: 70%



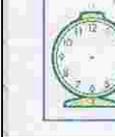
ベンケイガニ
はば3.5cm
せなかの前半分
はこみがあかい
はさみの外側ふつふつがある
野鳥でしはせつめつきくしです。
むしかごにいれたらあわをふいてい
うしろがあらっているようにみえま
メスでした。名前はなすとつけまし
川や川口にすむカニです。
ベンケイガニのあなの形。(はなちゃんがつかまお)



こんなかんいす

今日、キャンプで
こんなかんいす
あつたけれど、レス
には、なれありの
しました。おきに
こはんをたべまし

のじまキャンプ日記
8月15日 日曜日
天気: 晴
気温: 25°C
湿度: 70%



まき

ジュニアケリグ
ほろなが
まるい

板

ジュニアケリグで
さんぼしていたらこ
のうんちが取りまし
そのうんちはすたな
口をたべたききいな
にするとくちがあら

のじまキャンプ日記
8月15日 日曜日
天気: 晴
気温: 25°C
湿度: 70%



学生部合宿

8月17日(火)～19(木)

【活動報告その12】

於：愛川ふれあいの村

記) 小林千紘

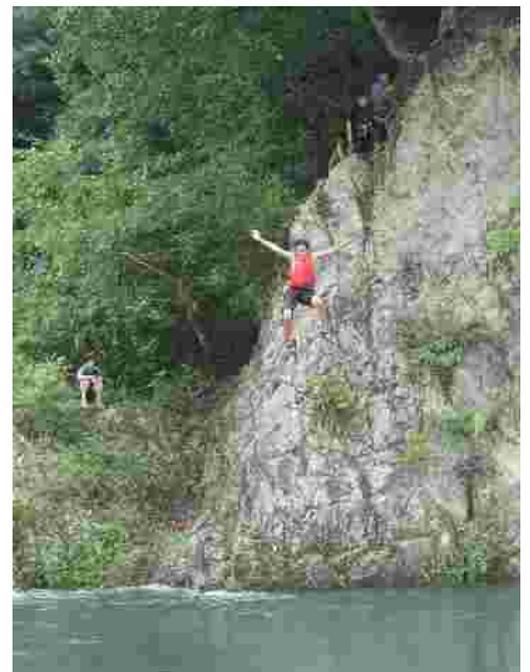
8月17日から19日まで、2泊3日で愛川ふれあいの村にて学生部合宿が行われました。参加者は、中学生11名、高校生4名、大学生3名、そして瀧本さんと山田さんでした。

1日目は、まず川の危険なところ(渦になっている)や、ペットボトルを使った川のレスキュー訓練を教えてくださいました。その後みんな訓練の後は気持ちよく川で遊びました。

2日目は、網や釣りなどでいろんな生き物をつかまえました。釣った魚は、焼いておいしくいただきました。途中、ゲリラ豪雨に襲われました。川の増水はあまりありませんでしたが、雷がたくさん落ちていたので少し怖かったです。この日、白石さん、長谷川さんから差し入れをいただきました。

3日目は、少し急になっている川の流れに乗る、高いところから飛び込む、などをして遊びました。帰りには、パーベキュー客が捨てていった河原のゴミ拾いをしました。

みんなそれぞれが様々な生き物に出会い、愛川の自然を楽しむことができたと思います。これからも様々な生き物や自然を知り、触れ合ってみたいです。



野 外 教 室

【活動報告その13】

8月21日(土) 9:00~11:30

於:大道小学校

記)重田まさ子

参加者は、例年より少なく、どうなる事が心配でしたが...

開会式が終わると、それぞれのやりたい場所へ、元気に向かいます。

~高学年の子供は、竹細工コーナー

低学年の子供は、生き物捕りへ~

<竹細工コーナー>

コップ、お箸、スプーンなどの日用品から、竹とんぼ、竹ぼっくりなどのおもちゃまで...暖かみのある道具が、次々と作り出されました。

<生き物捕り>

小学校裏のとんぼ池は、その名のとおり、色とりどりのとんぼが飛び交い、それに蝶やバッタが加わり、ひとつのメロディーを奏でているように、賑やかです。

それを、なんとか捕まえようと、網を振り回す子供達。徐々にコツを掴み、いつしか虫カゴは満員御礼に...

さらに、池の中からは、魚やカエルをゲット!

<土の中の微生物>

はまっこの子供達も参加。

顕微鏡を覗いたり、TV画面に、拡大して映し出された姿に、興味津々。

普段は小さくて、気づきませんが、土の中には、たくさんの生き物がいるんですね。

<流しそうめん>

それぞれの遊びを終えた後は、流しそうめん、締めくくりです。

作ったばかりの、お箸とコップを使って食べる子供や、流れていくそうめんを、思わず素手で掴んでしまう子供も(笑)

キラキラとしたみんなの笑顔が、印象的な一日でした。



8月定例クリーンアップ

【活動報告その14】

8月22日(日) 9:00~11:00

於: 大道橋上流

記) 細川一雄

参加者: 長橋輝明、八木場紀元、西澤博厚、石塚正夫、外川忠志、河本 充雄、
細川 一雄(計7名)

連日猛暑日が続く中、前回猛暑のため途中で作業を中断した場所から上流に向かい草刈りとゴミ拾いを行いました。

今年は晴天が続いたためか草の成長が早く、1.5mほどに育った背高泡立ち草やブタ草を、花が咲き種が出来ないうちに根っこから引き抜きます。

作業開始後30分程で最初の休憩をとり、ポットに氷と一緒にに入れて用意しておいた冷たい麦茶を飲み喉を潤おします。少し体を冷やして作業を再開しましたが、すぐ暑さのためにダウン、2回目の休憩はアイスクャンデーを食べましたが汗はなかなかひきません。

今回は外川さんが参加してくれましたので、前回の草と合わせて刈り取った草を県営住宅跡地に置いて作業を終わりました。残暑はまだまだ続くようですが次回は多少涼しくなっていると思います、残された場所は次回以降作業を実施したいと思います(横浜市との契約は履行しなければいけませんので)。

千歳園で汗を乾かし、再度冷たい飲み物で体を冷やしてから早々に解散しました。





だより



この夏、多くの方がかかわって井戸掘りを進めてきました。また、大道村の「看板」や「垂れ幕」を子どもたちが作り、「オリジナルTシャツ」や「軍手」の販売を行い、「そうめん流し」のイベントも楽しむことができました。

しかし、13m掘ったところで「掘り鉄管」が地中に詰まってしまう掘り続けることができなくなりました。そこで、この井戸を「学びの井戸」と名付け、草木の水遣り用に使うことにしました。

さて、気を取り直してもう一本と言いたいところですが、中心となって掘ってくださっている「チーム三艘」の方々もそれぞれの仕事が忙しい時期なので「井戸掘りのプロ」に途中まで掘ってもらうことに決めました。

9月6日(月)に千葉県白井市にある井戸掘りの専門チームNPO法人「しろい古里保存会」の方々に来ていただき、畑の奥のイチヨウの木の下に、たった一日で直径10cm深さ14mの穴の井戸を機械で掘ってもらいました。これにはびっくりですが、地盤があまりにも硬く、これ以上は機械では掘れないとのことでした。

(8月初旬の振り出しに戻る。)



9月12日(日)には、ひご車を40メートルほど移設しました。無風で暑い1日でした。夕方には元横浜国立大学江藤哲人先生に来ていただき、地質について様々なアドバイスを頂きました。9月末から「井戸掘り第二回戦」が始まります。

そして、10月30日(土)には、4年ぶりにトンボ池のエコアップを予定しています。地域・保護者に呼びかけて、大規模に行う予定です。池の水を全部抜いて、水草の手入れやヘドロの除去・橋作りなども行う予定です。

侍従会の会員のみなさんのお力を是非貸していただけますよう、お願いします。子どもたちといっしょにふるさとをつくりましょう。

(伊藤)

侍従川生き物図鑑 No.9

～ ヒバカリ ～

(ナミヘビ科)

学名：Amphiesma vibakari vibakari

体長：40～60センチ

見られる場所：中流域～源流域

和名は漢字で日量と書き“咬まれたらその日ばかりの命”という意味からきていますが、本種はヘビの中では大人しく、無毒です。流域では源流の湿地帯や林で多く見られ、一番馴染みのあるヘビです。

侍従川に親しむ会ではイベントの度にヘビのふれあい体験コーナーで展示しています。



琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～

～ クロイワトカゲモドキ ～

学名：Goniurosaurus kuroiwae

体長：14～19ミリ

分布：沖縄本島北部、古宇利島、瀬底島

一瞬首を傾げてしまいそうな名前ですが、正真正銘トカゲの仲間です。外敵に襲われやすいのか、森では再生した尾を持つものが多くみられます。

沖縄県指定の天然記念物で、法律で採集、飼育が禁じられていますが、本島北部では場所によって一箇所数十匹も見られることがあり、地元の人にはそれほど珍しがられていません。しかし、近年外来の哺乳類マングースの分布域が拡大してきているので、もし今後も増え続けてしまえば、トカゲのくせに逃げ足の遅い本種はほとんど食べられてしまうのではないかと心配されています。



監修) 熊井



それゆけ

激突！山田くん

～海外渡航編～

完全復活！？



「ノープロブレム バングラデシュの巻」

2009年10月、バングラデシュに旅立つことになった。

いきさつは、トンボ屋であるU君が「バングラデシュでトンボを捕りたい！」という話から(らしい)で、現地に島村さん(学生部まいちゃんのお父ちゃん)がJICAがらみで滞在しているので、島村さんにガイドを頼みつつ、話が膨らみコンダクターさん入れて8人のツアーになったのだが、貧乏ナチュラルリストの山田に渡航費用があるわけでなし...といったところで、鶴見川を再発見する会の桧垣さんから全面支援をいただき、バングラデシュに行けることになったのだ(ありがとうございました)。

バングラデシュはインドの東にある！...それだけしかわからなかった(恥ずかしながら...)。まわりに自慢がてら(笑)バングラデシュのことを聞いてみる。

まあ、だいたい「最貧国」という言葉が帰ってきたわけだが...バングラデシュに行ったことのある人から話を聞くと「貧しいというけど、村はある意味豊かだよ。我々の持つ経済感覚でははかれない...そう！昔の日本の農村もあんなじゃなかったのかな？あと、とにかく人がいる！人はすごくいいよ。ただ、飯は世界一まずい...」

ほう！何となく理解した。楽しみだぞ！...最後の言葉がちょっと気になるけど。

行く前に島村さんから「バングラデシュでは長ズボンと襟付きのシャツが常識だから」と言われたので、ボクのキライな長ズボンと襟付きのシャツも荷物につめる。靴は言われてないから、ピーサン(漁サン)にしよう。靴下がキライなので履き物はピーサンだけ...あと、「向こうの水は汚いから長靴で入らなきゃダメだよ」とU君に言われたので(破傷風菌やら原虫やらに侵されるとか)M先生が用意してくれた農協の長靴を持って行くことにした。

荷物は万端！...そして、みんなの心配するパスポートも持って、いざ出発！！...前回の韓国行きはパスポート忘れに成田空港で気づき、飛行機に乗れなかったため、遅れて船で駆けつけるといったドタバタ劇があったのだが、早速成田空港で引かかる。

山田は無事出国することができるのか！？

つづく

佐野真吾が語る侍従会の思い出 ~竹内さんがへびにハマったキッカケ~

今回は侍従会の方ならよくご存知の竹内秀弥さんについて書かせていただこうと思います。竹内さんといえば、「野外教室」や「金澤水の日」など、必ずへびを展示して下さります。また、「動く飼育室」と呼ばれる竹内さんの車の中には、たくさんのへびが大切に飼育されているという噂もあります。そしてそのへびを子どもたちに触らせてあげる竹内さんの姿は印象的です。しかし、そんな竹内さんにも意外な過去がありました。実は、竹内さんは昔、大のへび嫌いだったのです。

今から10年前、それは私が中学1年の9月でした。その日は、当時の学生部のメンバーで葉山町に生き物を探しに行きました。そして隊長の山田さんがヒバカリという小さなへびを捕まえて沢から戻ってきました。「竹内さんちょっと入れ物借りていいですか？」すると、「いいけどよぉ…俺はへび嫌いなんだから車の中で逃がすなよなぁ！」竹内さんがへび嫌いであるとは意外でした。しかしそれから数時間後、竹内さんが危惧した通りやはりヒバカリは竹内さんの車の中で逃げ出そうとしたのです。「あっ！フタに穴開いてた！」運が良いのか悪いのか、ヒバカリは逃げ出そうとした穴に引っかかって動けなくなっていたのです。「おい~！逃げる寸前だったじゃないかよぉ！」「どうしよう！引っかかってとれない…」「…」そして竹内さんは少し困った後、とても嫌そうな顔をしながらナイフを持ってきてフタを壊して山田さんが採ったヒバカリを救出してくれました。「竹内さんはヒバカリの恩人です！ヒバカリの命を救いました！いつかへびに恩返しされますよ！」救出後、山田さんが大袈裟に竹内さんを褒め称えたのです。

それから約1ヶ月後、1年に一回行われる金澤水の日の時でした。このイベントで侍従会は毎年生き物を展示するのですが、当日侍従会のブースに行った私は竹内さんの姿を見て驚きました。なんと竹内さんは子どもたちにへびを首に巻かれたり、ポケットの中に入れられたり、へび好きな子どもたちの遊び相手になっているではありませんか。へび嫌いなのに大丈夫なのだろうか…。私はふと思いました、考えを改め、この光景はきっと、へびは怖いけど、多くの子どもたちに興味を持ってもらいたいがために、我慢して子どもたちの前ではへびを好きなフリをしているんだ！やはり竹内さんはすばらしい人だ！と思いました。しかし、それから半年後の7月、夏休



み野外教室で竹内さんが展示したブースを見て私は再び驚かされたのでした。いつも展示してくださるクワガタに加え、毒ヘビを除いた本州に分布するヘビがほぼ全種類展示されていたのです！「あとタカチホヘビだけ手に入れば全種類なんだよなあ！」竹内さんは誇らしげでした。そして私はあっけにとられてしまいました。「…竹内さんてヘビ苦手って言ってましたよね？いつの間にヘビマニアになっちゃったんですか？」私が山田さんに尋ねると、「そういえばね～。最近ハマってるみたいだね～」と、それだけでした。「はあ…そうなんですか…」私はただただ驚かされるだけでした。

それから約10年後、虫とりのため、東北に向かう車の中でその話になりました。「そう言えば竹内さん？近々会報の連載で竹内さんの話を書こうと思うんですけど。今取材していいですか？」「え？（笑）なんの話書くの？（笑）」竹内さんがヘビにハマったキッカケについてです！竹内さんは元々ヘビ嫌いでしたよね？でも半年後に会った時にはヘビマニアになっていたんですよ！その期間に何があったんですか？（笑）」

根掘り葉掘り聞いてみると、やはり決め手となったのは、子どもたちに無理矢理ヘビを触らされた金澤水の日であったそうです。「一回触っちゃうと、こんなもんか！って慣れるな！（笑）」そしてその時いっしょに車に乗っていた成島さんが言いました。「嫌いなものっていうのは少なからず興味があるんだよ！だから嫌いなものほど好きになれるんじゃないの！」「なるほどお！！」同乗していた一同から感嘆の声があがったのでした。

実は私もクモが苦手なのですが、勇気を出して触ってみれば好きになれるのでしょうか？「…」やっぱり今はまだやめておこうと思います…。

『佐野真吾が語る侍従会の思い出』つづく

新連載コラム第4回

朝夷奈の森通信 ～風の忍者より～

飯村優介

暑い夏、周辺の森は雷雨も降りにくい地域のため、乾燥しキノコも休み。9月半ば過ぎ、秋雨の訪れがキノコを起こしていきます。

アカヤマドリ

イグチ科の食用キノコ。9月中旬～下旬、雑木林内に発生する。傘は7cm～25cm、濃い橙色、成長するとひび割れ中の黄色の肉を表す。ひだは管孔、黄色のちオリーブ黄色。イグチ特有の香りが強いが、旨味が濃く、柄は歯切れがよい。シチューやカレーなどに良く合い、美味しい。



アカヤマドリ（食）

ニセアブラシメジ (クリフウセンタケ)

フウセンタケ科の食用キノコ。山地で9月、周辺の森では10月中頃、雑木林内に発生。傘は4cm~8cmで淡黄土橙色、ひだは白色のちにつけい色。コナラ混じりの尾根上などしばしば群生し落葉かき分け収穫。さわやかな香り、多少ぬめりあり、舌ざわり歯切れも良く、美味。どんな料理にも利用できる。キノコごはんにも特に合う。



ニセアブラシメジ (食)
(クリフウセンタケ)

ウラベニホテイシメジ

イッポンシメジ科の食用キノコ。周辺の森で10月発生。傘は7cm~12cm以上。先の丸い円すい形から中高の平らに開く。せんい状のかすり模様、しばしば指紋のような紋を表す。柄は太く長く、中実でしっかりする。粉臭と多少苦味があるが、歯切れが良く美味しいキノコ。鳥なべやすき焼き、和風煮込みに良く合う。



ウラベニホテイシメジ (食)

クサウラベニタケ

イッポンシメジ科の毒キノコ。傘は3cm~8cmだが大きくなるものもあり注意。柄は中空でもろい、前種より細い。傘の毛よう、柄など良く見比べ同定する。嘔吐、下痢をする。

イッポンシメジ

イッポンシメジ科の毒キノコ。大きさはウラベニホテイシメジに近いが、傘のふちがわん曲すること、ろうを引いたようなつやがある。クサウラベニタケやイッポンシメジは食用のウラベニホテイシメジと同じ林に発生するので、同定に自信がなければ食べない。



クサウラベニタケ (毒)

イッポンシメジ (毒)

ナラタケ

キシメジ科の食用キノコ。傘は4cm~15cmで中央部に細かい鱗片があり、周辺に糸線がある。ひだは白のち淡褐色。広葉樹から針葉樹の枯れ木に発生。コナラなど特に多い。ほのかに甘い香りがあり、美味しく広く世界的に食べられている。どんな料理にも良く合う。生食は中毒するので、しっかり加熱すること、お忘れなように。



ナラタケ (食)

侍従川定例調査報告 学生部

6月26日(土) 曇り～雨

大潮 満潮03:37(175cm) 17:56(176cm) 干潮10:48(15cm) 23:06(111cm)

参加者：白石、角井、鈴木、金子、古寺、井上、山田

【汐見橋】(下流域) 10:25

気温：28 水温：26 水の色：透明 底質：砂、ヘドロ 塩分濃度：1.8%

生物：ゴカイ sp、ホソウミニナ、アサリ、カキ、
テナガエビ、チゴガニ、ヤマトオサガニ、
アシハラガニ、ボラ、クロダイ、チチブ、
ウロハゼ、コサギ、カワウ、カルガモ

ゴミ：空き缶、タバコのフィルター、ビニール袋

備考：クロダイは初発見。アナアオサが見られた。
チチブはどれも黒くて痩せていた。



【長島橋】(中流域) 13:21

気温：30 水温：26 水の色：透明

底質：礫、砂 塩分濃度：0%

生物：ハグロトンボ(成虫・幼虫)、コオニヤンマ
(幼虫)、コシボソヤンマ(幼虫)、
アメンボ、ミソレヌマエビ、テナガエビ、
クロベンケイガニ、コイ、ボラ、チチブ、
ウキゴリ、ピリンゴ、コサギ、カルガモ

ゴミ：空き缶、タバコのフィルター、ビニール袋

備考：カナムグラがはびこってきた。

雨が降ってきたため、それ以降の調査を中止した



7月26日(月) 晴れ

大潮 満潮 04:17(182cm)18:01(182cm) 干潮 11:14(26cm)23:29(99cm)

【汐見橋】(下流域) 09:36

気温: 31 水温: 28 水の色: 透明 底質: 砂、ヘドロ 塩分濃度: 1.8‰

生物: ゴカイ sp、ホソウミニナ、カキ、テナガエビ、チゴガニ、クロベンケイガニ、ボラ、チチブ、カワウ、カルガモ

ゴミ: タバコのフィルター、ビニール袋

【長島橋~ちとせ園】(中流域) 10:48

気温: 32 水温: 28 水の色: 透明 底質: 礫、砂 塩分濃度: 0‰

生物: ハグロトンボ(成虫)、コオニヤンマ(幼虫)、コシボソヤンマ(幼虫)、アメンボ、ミゾレヌマエビ、テナガエビ、クロベンケイガニ、コイ、チチブ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ピリンゴ、コサギ、カルガモ

ゴミ: 空き缶、タバコのフィルター、ビニール袋

備考: カナムグラがはびこってきた。

侍従川大調査~横浜市ハグロトンボ一斉調査~のデータ

『大道中学校 ホトケドジョウ調査』 報告者: 竹内久登

調査日: 8月19日 9:00~11:00

気温: 28.5 水温: 23.0 DO(溶存酸素量): 6.11mg/ml pH: 8.2

ホトケドジョウ採捕尾数: 118

ホトケドジョウ平均体長: 32.12mm

その他の生物: サワガニ 6匹、カゲロウ sp(幼虫)5匹、ヤゴ類 22匹、ヤマトクロスジヘビトンボ(幼虫)1匹、カワニナ 13匹、

感想: 春に孵化したホトケドジョウが多いようで、平均体長が春に比べて小さいように感じました。それでも、数は春に比べて多く捕れたので、順調に繁殖しているのではないかと感じています。

調査実施者: 日本大学 生物資源科学部

海洋生物機能化学研究室(病理学グループ) 5名

事務局だより

事務局運営委員 長橋 輝明

9月～11月の活動予定

9 / 19(日) 侍従川 ハゼ釣り大会 9時～15時頃 9時大道小学校集合

要参加費 侍従会会員¥100 非会員¥200)

9 / 26(日) 定例クリーンアップ 9時～12時頃 ちとせ園集合

定例クリーンアップは、雨天の場合、翌週日曜日に行います。

10 / 3(日) 秋の森たんけん 9時～ 大道小学校集合

10 / 24(日) 定例クリーンアップ 9時～12時頃 ちとせ園集合

10 / 30(土) とんぼ池の大掃除 9時～ 大道小学校集合 主催：大道小学校

10 / 31(日) 大道コミュニティ文化祭(侍従川水族館) 大道小コミュニティ

11 / 21(日) 金澤水の日 野島青少年研修センター

前日(11/20)に生き物採集をやります。

11 / 28(日) 定例クリーンアップ

9時～12時頃 ちとせ園集合

11月には火おこし&焚き火料理もやる予定です。

日程は、追って連絡します。

学生部の活動は、追ってお知らせします。

活動の詳細(持ち物など)
は、別途配布の活動予定
又はホームページをご覧
ください。

<http://jijyukai.web.fc2.com>

侍従会が「2010年全労済地域貢献助成事業」の対象団体に
選ばれました!

環境活動や子育て子育て支援活動に携わる市民団体を支援する全労済の助成事業の
対象団体に選ばれました。選ばれたのは、404団体の中から69団体です。

詳しくは以下のホームページをご覧ください。

<http://www.zenrosai.coop/zenrosai/topics/detail/6428.php>

編集後記 今年の夏は、暑くて暑くて長～～い夏でし
たが、ようやく秋らしくなってきましたね。そんな猛暑の
中でも、子どもも大人もたくさんの方々が元気いっぱい
活動に参加してくれました。盛りだくさんの活動報告・調
査報告をお楽しみください。(MK)

